令和６年度　黒部市環境審議会

日　時　　令和７年３月３日（月）　10：00～10：45
場　所　　黒部市役所２階　市民交流サロン１
出席者
（委　員）

星川 圭介	富山県立大学　教授
平野 正義	黒部市農業協同組合　代表理事組合長
岡田 常男	黒部川左岸土地改良区　理事
西本 初博	黒部市自治振興会連絡協議会
島　武夫	黒部商工会議所　専務理事
米陀 峰信	くろべ漁業協同組合　参事
中山 純一	富山県環境科学センター 所長
尾島 輝佳	富山県農林水産総合技術センター農業研究所 所長
辻本　良	富山県農林水産総合技術センター水産研究所 所長
稲垣 里佳	富山県地球温暖化防止活動推進員
岩上 勝彦	黒部市環境衛生協議会 会長
丸田 将揮	黒部市水資源対策協議会 監事
大矢 慎司	黒部名水会 事務局 次長

（欠　席）

大江　浩	富山県新川厚生センター 所長

（幹事）

長田　等	黒部市総務管理部長
島田 恭宏	黒部市市民福祉部長
高野　晋	黒部市産業振興部長
小森 克之	黒部市都市創造部長
藤田 信幸	黒部市教育部長

（事務局）　　黒部市市民福祉部市民環境課

次　第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員及び幹事の紹介
4. 審議事項
   （1）会長及び副会長の選出
   （2）環境基本計画の進捗状況
   （3）環境の現況
5. 報告事項
   （1）黒部市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要
6. 閉会

資　料

1. 黒部市環境審議会　委員名簿
2. 黒部市環境基本計画進捗状況報告
3. 環境の現況　・「とやまの名水」水質検査結果
   ・河川水質検査結果
   ・大気汚染調査結果
4. 黒部市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要

1. 開会

2. 挨拶

島田市民福祉部長　本審議会は、黒部市環境基本条例に基づき設置をしており、黒部市環境基本計画の進捗状況や本市における環境保全に関する事項について関係ある幅広い分野の皆様からご意見やご助言をいただきたく開催をさせていただいた。

この計画は、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としている。取組の進捗を定期的に把握・評価するため、本審議会を点検評価の場として、環境施策のあり方・方向性についてご審議ご意見を賜りたい。

3. 委員等の紹介

4. 審議事項

(1) 会長及び副会長の選出について

条例第 26 条 第 2 項により、会長は富山県立大学の星川圭介委員、副会長は自治振興会連絡協議会の西本初博委員に決定。

(2) 環境基本計画の進捗状況

事務局　資料 2 に基づき、説明。

会長　意見や質問等ございましたら、お願いします。

委員　８ページ、水力発電施設の整備箇所数についてお聞きします。黒部名水会として、黒部の豊かな水を「知って、学んで、保全してなおかつ活かす」ということで活動している。活かすということで、小水力発電施設を令和 10 年の目標として、８箇所となっている。ぜひ達成するように推進していただきたい。

事務局　小水力発電施設については、市内の調査も行っているところでありますが、民間活力による設置も考慮に入れながら、検討してまいりたい。

委員　6 ページの資源物収集量について、平成 25 年度では 1,809 トンであったものが、令和５年度では 1,219 トンであり、2/3 となっている。この減少についてどのように捉えているか。

事務局　資源物の軽量化が一因であると考えられます。その他の要因として、表に示す処理量については、市の委託で回収している廃棄物が対象となっておりますが、スーパー等の事業所においても資源物回収の取組が進んでおり、そちらを利用される方が増えていることも考えられます。

会長　現状は説明していただいたので、目標の数値について市民にとってもわかりやすい形にしてもらえたらと思う。

(3) 環境の現況

事務局　資料 3 に基づき、説明。

委員　「とやまの名水」水質検査結果について、弘法の清水（神明町西）が塩水化している。深度が浅いことが原因ではないかと思い調べてみたが、正確な深さがわからなかった。現地はきちんと管理されており、残念である。自然相手のことでもあるが、深さが影響しているのであれば、改善できないか。

もう１点、河川水質検査結果について、大腸菌の値が高い箇所がある。黒部名水会は市内９校を対象に 2018 年から出前授業を開催しており、３巡し、1,135 名の児童が受講した。説明の中で、名水でおいしい作物がある、黒部名水ポークもおいしいねって話している。畜産事業所も浄化槽を設けて管理しているとは思うが、ご指導をお願いしたい。

事務局　　とやまの名水については、毎年水質調査を行いながら推移を見守っている。飲用不可と表示しており、地元からは新たな井戸を掘るとかもう少し深くといった話しは出てきていないという状況であります。
河川調査について、市内の畜産事業所に対しては、関係機関と連携を図り、また事業所への聴き取りも行いながら状況の把握及び指導を行っております。

会長　　とやまの名水については、地下のことなのでなかなか対処は難しい。隣り合った井戸でも影響のある方とない方がでてきたり不思議なことがある。何か今後やっていけることがあればよいかなと思う。

5. 報告事項

（1）黒部市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要

事務局　　資料４に基づき、説明。

委員　　大規模排出事業者について、該当する事業者は市内で何社あるか。

事務局　　年度によって変化するが、策定においては６事業所を算定の基礎としました。

会長　　今後取りまとめていくということで、いつ頃の予定か。

事務局　　年度内の予定です。

会長　　地球温暖化対策は水資源にも影響し、非常に重要な取組みである。

6. 閉会

以上